

【計画の目標と取組状況】

資料 2

基本方針	個別施策	指標〔主な想定取組主体〕	現状(2023年度)	2024年度(実績)	2025年度(実績)	2025年度(取組状況)	目標(2029年度)
【方針1】 「かわ」を活かしてめぐる	① 川沿いの周遊ルートの形成	道の駅～中心市街地間の通行者数(無人カウンターの設置等)〔県〕	(未把握)	3,655人 (11月～3月)	1,566人 (4月～5月)	・左記のとおり測定を実施 (2026年度以降も引き続き測定)	毎年増加
	② 自転車などパーソナルモビリティでの周遊	レンタサイクル利用者数〔観光物産協会〕	206人/年	188人/年	126人/(4月～2月25日)	・6月上旬に車両入れ替え及び価格改定を実施。	250人/年
	③ グリーンスローモビリティでの周遊	モビタ休日利用者数〔陸前高田グリーンスローモビリティ〕	2,353人	2,206人 (運行日数:102日)	1,119人 (4月～11月末)	・運行日数:73日(土日祝便12便/日)	約3,000人
		電動カート運行便数〔観光物産協会〕	実績なし	302便	180便 (4月～2月末)	・計画:年間500便運行 ※天候不良や乗客がいない場合は運休している。	年間400便程度
	④ 花や緑を活かした周遊ルートの魅力向上	桜の植樹本数〔さくらの杜プロジェクト陸前高田協議会〕	実績なし	延べ120本 (2024年度:74本)	延べ233本 (2025年度:113本)	・11月9日:秋の植樹会 ・3月7日:絆植樹祭 ・3月8日:卒業記念植樹祭	延べ1,000本
【方針2】 「かわ」を活かして学ぶ・楽しむ・体験する	⑤ アクティビティの場としての水面利用	SUPスクール・ガイドツアー等開催回数〔主にTheBlueSUP〕	実績なし	0	2回	・7月10日:気仙小学校校体験会(20名) ・11月9日:震災伝承・復興体感アクティビティ	年間10回以上
		SUP全国クラス大会開催回数〔主にTheBlueSUP〕	実績なし	0	0	・計画期間内の開催に向けて関係団体等が協議を行った。	5年以内に開催
	⑥ 釣りなどの水辺と親しむ利用	複数主体が連携した川の環境に親しむイベントの開催回数〔複数団体〕	2～3回/年	3回	3回	・9月6日:川原川の生きもの観察会(18名) ・10月10日:川原川イワナ放流体験(高田保育園24名) ・12月20日:古川沼・高田松原の野鳥観察会(17名)	前年比増加または現状維持
	⑦ 川沿いでの多彩なレクリエーション利用						
	⑧ 水辺の自然観察・震災学習利用						
【方針3】 かつての利用の復活と段階的な利活用の充実	・震災前に市民に親しまれていたさまざまな水辺利用の復活をめざすとともに、合意形成を図りながら段階的に新たな利用を展開する。						